

築地市場のウナギの平均卸売価格、びっくりの高騰

2018年3月22日時点

GD Freak「号外」

2月の卸売価格が高騰

シラスの今季不漁が報じられていることから、今夏のウナギ平均卸売価格は、キロ当たり5千円～6千円程度かと想像する方も多いことと思いますが、なんと2月にもかかわらず、昨年5月～7月の価格をあっさり上まわってしまいました。

下図は、GD Freakが作成している東京・築地市場のウナギの月別卸売平均価格の推移と取扱数量を表したグラフです。

2月の取扱量が前年の同じ月に比べわずか2割程度少ないだけなのに、平均価格は4,742円/キロにまで高騰してしまいました。

一方、一昨年（2016年）は、本年2月よりも取扱量は少なかったものの、価格の方は、4千円以下にとどまっていた。

ウナギの市場での取扱量と価格の関係には、かなりの相関がみられますが、2月の価格高騰は単に取扱量が前年同期よりも少ないというだけでは説明が付きません。これは、やはりシラス不漁と喧伝された「アナウンス」が効いているのではないのでしょうか。

さて、今後需要期に向かってどのように価格がたどるのか、消費者心理の綾がどんな影響を与えていくのか、目が離せない展開となりそうです。

GD Freakの東京・築地市場のウナギ市況グラフ（月報のみ）

<http://jp.gdfreak.com/public/detail/jp011013999600201630/1>

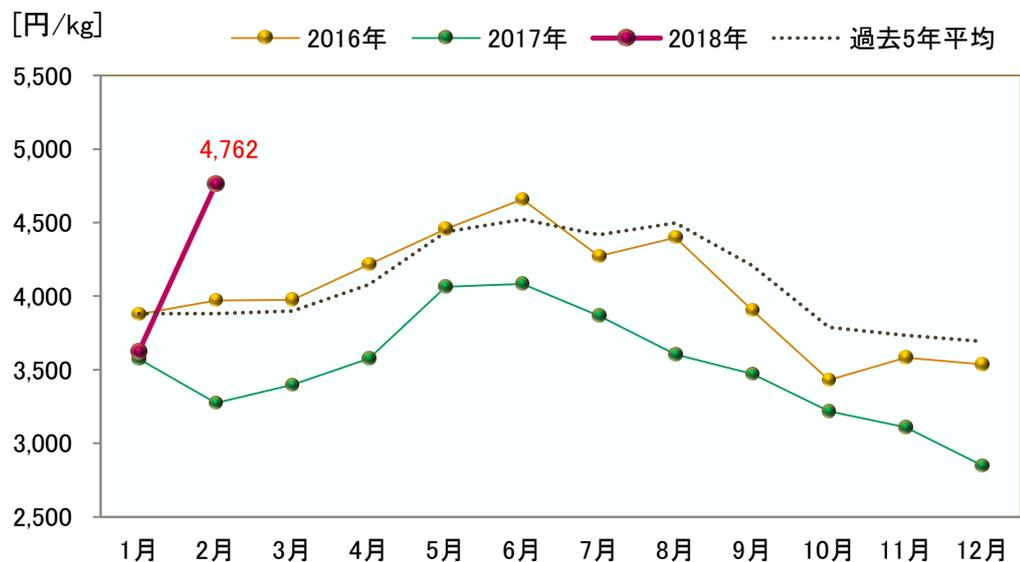
※なお、ウナギの市況は、大阪・本場市場のグラフの方が詳細な情報が得られます。開市場日ごとの養殖うなぎ、天然うなぎ別の取扱量（卸売量）、相対取引価格、主産地別の相対取引価格の動きを見ることができます。こちらも併せてご参照ください。

GD Freakの大阪・本場市場のウナギ市況グラフ（日報と月報）

<http://jp.gdfreak.com/public/detail/jp011027999601100350/1>

下表は東京・築地市場のウナギの市況を表しています。

ウナギの月別卸売平均価格



ウナギの月別卸売取扱数量

